

製品名: 切断型 MMP-10 (F99) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09009**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	43kDa

抗原情報

遺伝子名	MMP10
別名	MMP10; STMY2; Stromelysin-2; SL-2; Matrix metalloproteinase-10; MMP-10; Transin-2
遺伝子 ID	4319.0
SwissProt ID	P09238
免疫原	抗血清はヒト MMP10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 80-129

背景

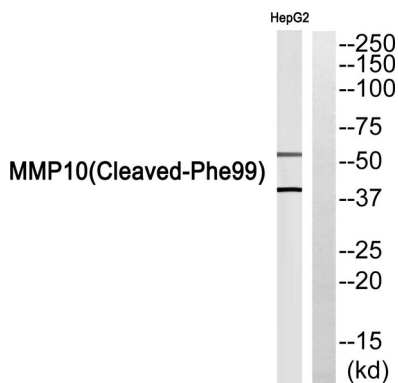
この遺伝子は、マトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) のペプチダーゼ M10 ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのタンパク質は、胚発生、生殖、組織リモデリングなどの正常な生理学的プロセス、ならびに関節炎や転移などの疾患プロセス

における細胞外マトリックスの分解に関与しています。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって成熟プロテアーゼを生成します。この分泌型プロテアーゼは、フィブロネクチン、ラミニン、エラスチン、プロテオグリカンコアタンパク質、ゼラチン、および数種類のコラーゲンを分解します。この遺伝子は、11番染色体上のMMP遺伝子群の一部である。[RefSeq提供、2016年1月]、触媒活性: ストロメリシン1に類似するが、III型、IV型、V型コラーゲンへの作用は弱い。、補因子: サブユニットあたり2個の亜鉛イオンに結合する。、補因子: カルシウム。、ドメイン: システインスイッチモチーフに存在する保存されたシステインが触媒亜鉛イオンと結合し、酵素を阻害する。活性化ペプチドの放出により亜鉛イオンからシステインが解離することで、酵素が活性化される。機能: フィブロネクチン、I型、III型、IV型、V型ゼラチンを分解することができる。コラーゲンIII、IV、Vに弱く結合します。プロコラーゲナーゼを活性化します。、類似性: ペプチダーゼM10Aファミリーに属します。、類似性: 4つのヘモペクシン様ドメインを含みます。、

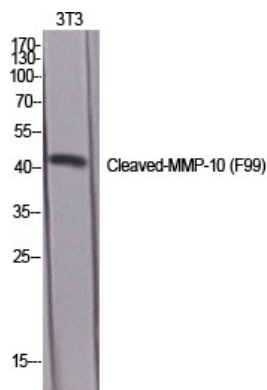
研究分野

血管新生

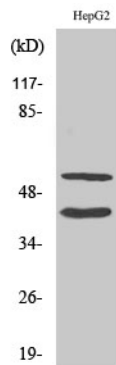
画像データ



MMP10 (Cleaved-Phe99) 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンにはMMP10 (Cleaved-Phe99) ペプチドでブロッキングされている。



Cleaved-MMP-10 (F99) ポリクローナル抗体を1:1000に希釈して各種細胞をウェスタンブロット解析した。



Cleaved-MMP-10 (F99) ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット解析